

丹沢：不老山

山行日：2022.5.7 参加者：th、ik、ko、jy、mt 天候：くもり

コース：新松田駅/8:25 一向河原/9:00 一番ヶ平/11:55 不老山/13:00 生土分岐/14:45 11号鉄塔/16:00 ウロウロ 生土登山口/17:00 駿河小山駅/17:40

最近不老山でも条件によっては、山ヒル被害があるとのことでスパッツ、スプレー等対策は万全のつもりであったが、下山路でミスルートし、ヤブをウロウロしてしまい山ヒル被害にあってしまった。



レトロな道標が朽ちかけている



明るい新緑の中をジグザグに高度差650m 一番ヶ平へ。2013.10 神奈川県職員 35歳女性が単独台風被害調査で遭難した場所。その後2名でパトロール実施



遠くでチェーンソーの音が聞こえていたが、伐採している脇を歩いて行く。古い熊のツメ研ぎ跡があった



台風被害による崩落箇所は高巻きして

バス下車後ゆっくりと3時間を要して番ヶ平、お弁当タイム



ガスが晴れて来て足柄平野、相模湾、大野山～21世紀の森が見えている





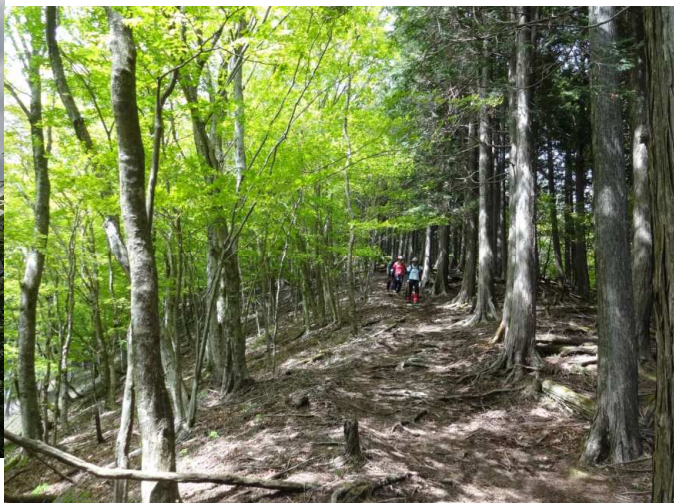
緩やかに登って本日の最高峰 926m 不老山



誰もいない山頂 サンショウバラはまだ芽吹き中



正面に三国山、奥に雲に隠れた富士山



県境尾根を慎重に降る ユニークな道標が次々と



9号鉄塔で愛鷹山と富士山方面



第二東名工事現場



生土分岐では道標が張り合っ建っている



まだあまり歩かれていなかった頃、この尾根道に岩田翁が設置した多くのカラフルな道標が朽ちている



ここで県境尾根を外れて右の尾根を降りて行く



11号鉄塔迄は良かったが、そのまま尾根上を直進する
ところ凹み状の旧生活路を落葉を蹴散らして下って行つ
たが山ノ神で行き止まり。国道 246 号線でストップ



246 号線は結構な法面下に。道路向こうに道が見え、すぐ下に階段路らしき鉄柵があるがヤブが濃くて



降りられず。
やむを得ず
鉄塔近く迄
登り返す事に



11号鉄塔尾根道近くの鉄塔巡視路階段を降って、堰堤脇下に降り立つ



国道 246 号線バイパス高架下を通過する。 帰宅後調査したらルートミスしたところには 246 号線に降りる階段路があり道路を横断して下記**赤矢印**に降りられる事が判明したが後の祭り、次回の課題とする



駿河小山駅一帯はかつて繊維産業が賑わっていた頃、富士紡績（下着メーカー BVD）の企業城下町であった
現在もその面影はあるが工場海外移転に伴い寂れてしまった
ご多聞にもれず駿河小山駅前商店街もシャッター通りに
関東大震災時、小山町は90%以上の建屋が全壊又は半壊した



16 時駅到着予定を大幅に遅れてたそれがれ
せまる 17:40 着

